

【地域づくりの基本的方向】

復興で得た「知恵」や「仕組み」を活かして、
過疎高齢化に適応する持続可能な地域づくりをめざす

(復興の「知恵」や「仕組み」)

〈地域の基盤〉

共助コミュニティの強化
共感コミュニティの発生

〈目標〉

「民の公」の拡大による
自立と自律の地域経営

〈推進体制〉

住民による合意と
決定の仕組み

〈サポート体制〉

中間支援等を行う
外部組織の活用・連携

【これからの地域づくりのビジョンと展開イメージ】

ラクラク・イキイキ暮らせて、ワクワクする地域をめざして

- ・過疎化、高齢化しても、ラクラク安心して暮らし続けられる地域の形成
 - ・老若男女を問わず、だれもがイキイキ楽しく住み続けられる地域の形成
- ⇒ ・地域の魅力をワクワク感じて、交流や対流が生まれる地域の形成

ラクラク暮らせる地域

- ・雪対策や見守りなどの安心・安全
- ・買い物や交通等の利便性の向上 など

住んでいる人、住んでみたい人が住み続けられる地域づくり

イキイキ暮らせる地域

- ・起業、コミュニティビジネス、
子育て支援、移住環境整備 など

ラクラク・イキイキ暮らしながら、ワクワク感の生まれる活力ある地域の実現をめざす

地域の魅力を感じて
ワクワクする地域
(交流・対流の拡大、
地域の魅力の拡大
など)

図 2

「ラクラク、イキイキ暮らせて、ワクワクする地域」に向けた連携体制

